

EC支援事業を強化

サイト制作・発送代行

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は2016年度、EC（電子商取引）ビジネス支援事業を一層強化する。ウェブサイトの制作・運営、発送代行などを行うもので、年間4、5件の受注を目指し、このうち少なくとも1件はサイト立ち上げから出荷までトータルで受注したい考え。3年以内に全ての関連作業を内製化する計画で、スタッフ増員による組織拡充も視野に入れる。

（吉田英行）

関連作業内製化へ

ダイワコーポ

同社が展開するECビジネス支援事業「ECクリエーター」は、14年1月にスタート。顧客は15社ほどで、物流業務は江東通販センター（江東区）を中核施設に雑貨、化粧品、食品、アパレル、アーティスティックグッズなどを取り扱っている。16年4月に開設された、洋傘メーカーのシューズセ

レクション（林秀信社長、目黒区）のECサイトは、ダイワコーポが1年かけて構築した。物流業務は横浜金沢営業所（横浜市金沢区）で行い、受注など運営面はシューズセレクションが担当している。

ECサイト制作を担当したダイワコーポ管理部の栗林彩乃さんによると、「色が豊富」「大人可愛い」「丈夫」といった商品の特徴・イメージから、トーンの方角性やカラーを決定。イメージに近い属性を持った絵や写真、文字などを一つの画面にまとめたムードボードを使ってヒアリングを行い、目黒区自由が丘にある直営店のイメージに即したサイトに仕上げた。

栗林さんは「カワイイ」の一言でも女性によって様々なイメージがある。サイトで取り扱うのは1本2千〜5千円前後の傘で、ターゲットはおしゃれな大人の女性。ヒアリングを通して、できるだけイメージに近付けた」と話す。

また、ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）のシステムパッケージをカスタマイズすることで、ウェブの知識が無くても注文管理などができるよう、シンプルな管理画面を採用した。

シューズセレクションは、洋傘の企画、製造、卸売を手掛け、中国、台湾、カンボジアに工場を持つ。ダイワコーポでは10年以上前から、横浜金沢営業所でシューズセレクションの物流業務を担っている。

今年度は、年間4、5件の業務受注を目指す。このうち1件は、ECサイトの立ち上げから運営、発送代行などの物流業務をトータルに請け負いたい考え。

また、3年以内をメドに、受注管理や商品撮影・採寸といった「ささげ業務」など、一部外部委託している作業の内製化も図る。シューズセレクションの

ECサイト立ち上げに関わった営業部第三グループの上田裕輔グループ長は「ECビジネス支援事業を提案できる営業マンや制作スタッフを増員するなど、組織拡充も視野に入れたい」としている。